

平成28年度の開園は4月1日(金)です。

当日、先着100人にオキナグサの苗をプレゼントします。

※3月26日(土)、27日(日)にプレオープンします。

◎催し物 展示 ※都合により内容・日程の一部が変更になる場合があります。

展示

- 野草園写真展(紅の蔵).....4/5(火)~4/24(日)
- 春の山野草展.....5/3(火)~5/5(木)
- エビネ展.....5/14(土)~5/22(日)
- 第22回写真コンテスト入賞作品展.....6月中旬~7月中旬
- 絶滅危惧植物パネル展.....7月中旬~8月中旬
- 東北南3県ポタニカルアート作品展.....9/4(日)~9/22(木)
- 第23回写真コンテスト入賞作品展.....10月中旬~11月下旬
- 東北おし葉標本展.....11/1(火)~11/13(日)
- 野草園写真展(山形市役所).....平成29年3/13(月)~3/17(金)

観覧会

- ガイドウォーキング
 - 4月~11月の日曜日、祝日
 - 無休期間(4月第3日曜日~6月第2日曜日)の土曜日、9月の土曜日
 - 春・秋の野草園祭り期間中
- 早朝バードウォッチング.....4/16(土)、11/5(土)
- 四季観覧会.....5/11(水)、7/20(水)、10/19(水)、平成29年2月中旬、3月中旬
- 西藏王観覧会.....6月、10月
- ホテル観覧会.....6/24(金)~6/26(日)、7/1(金)~7/3(日)、7/8(金)~7/10(日)
- 星空を見る会.....8/11(木)、9/3(土)

体験教室

- ミニ新幹線運行.....4/30(土)、5/1(日)、9/18(日)、9/19(月)
- 乗馬体験.....5/1(日)、5/5(木)、9/19(月)
- エビネの育て方教室.....5/21(土)
- 山野草の育て方教室.....6/14(火)、9/27(火)
- オキナグサ講習会.....7/30(土)
- ラベンダースティック教室.....7/23(土)、7/30(土)
- 木工工作教室.....7/24(日)、7/31(日)、8/7(日)
- 草木染め教室.....8月
- 写真撮影教室.....8月
- ポタニカルアート体験講座.....9/10(土)
- プリザーブドフラワー教室.....9/24(土)
- ハーブリース教室.....10/10(月)
- ガーデニング教室.....10/29(土)



野草園だより

編集・発行／山形市野草園



50号／平成28年3月発行(年2回発行)
〒990-2406 山形市大字神尾832番地の3
TEL 023(634)4120・FAX 023(634)4121

野草園のホームページ
<http://www.yasouen.jp>

無料開放日

- みどりの日.....5/4(水)
- 市制記念.....7/3(日)
- 敬老の日(65歳以上).....9/19(月)

コンテスト

- 第23回野草園の魅力を探る写真コンテスト.....募集期間 9/1(木)~9/22(木)

その他

- 春の野草園祭り.....4/29(金)~5/5(木)
- 秋の野草園祭り.....9/17(土)~9/19(月)
- 餅振舞い.....4/29(金)、9/17(土)
- 森の音楽コンサート.....5/3(火)
- 瀧山太鼓演奏.....5/4(水)
- ウサギふれあいコーナー.....5/5(木)
- 工作コーナー.....7月下旬~8月中旬
- 焼き栗振舞い.....9/18(日)
- 焼き芋振舞い.....10/15(土)、10/16(日)
- 東北植物研究会 大会.....11/12(土)、11/13(日)
- そり滑り.....平成29年2月下旬

《開園時間等》

- 開園時間／4月~5月 9:00~16:30
- 6月~8月 9:00~18:00
- 9月~11月 9:00~16:30

●休園日／毎週月曜日

《ただし、月曜日が祝日の場合はその翌平日》

※4月の第3日曜日から6月の第2日曜日まで休まず開園します。

●冬期間休園／12月~3月

●入園料／大人：300円 高校生以下：無料

◆団体割引(20人以上の場合)

大人：240円 高校生以下：無料

《交通案内》

- JR山形駅より山形交通路線バス西藏王・野草園行き終点下車
- 山形自動車道蔵王I.Cより西藏王高原ラインを蔵王温泉方面へ15分
- 国道13号より、県道53号経由または市道三本木線経由で10分



山形市

野草園だより 50号



シンボルマーク
原画 阿部功雲氏

ミズバショウ(サトイモ科)、ザゼンソウ(サトイモ科)、
オオヤマザクラ(バラ科)の競演

見頃：4月下旬

西藏王高原に自生する植物です。園内中央部にある「ミズバショウの谷」からは、ひとあし早く4月上旬に咲き始めたザゼンソウ、4月中旬から咲いたミズバショウ、4月下旬に咲くオオヤマザクラがこの期間だけ一度に見られます。

春から初夏に咲く 絶滅危惧植物

山形県のレッドデータブックを基にご紹介します。



オキナグサ

花期：5月上旬～中旬
キンポウゲ科

花が終わった後、雌しべが羽毛状に伸び、老人の白髪のように見えることから「翁草」と名づけられたようです。「友好姉妹都市の庭」と「ロックガーデン登り口」に植栽しています。



クマガイソウ

花期：5月上旬～中旬
ラン科

名は袋状の唇弁を、源氏の武将熊谷次郎直実の母衣（ほろ）に見立てたものです。当時戦場では矢よけのためにふくらませた布製の袋（母衣）を背負ったのです。「ひょうたん池西側」と「東トイレ近くの杉林」に群生しています。



サルメンエビネ

花期：5月中旬～下旬
ラン科

エビネの仲間では最も北まで生える多年草で、北海道にも普通にあるそうです。花の唇弁が赤褐色で縮れているのを赤い顔の猿に見立てたようです。「ミズバショウの谷東側の林床」で見られます。



オサバグサ

花期：5月上旬～中旬
ケシ科

1属1種の日本固有種で、根元からシダに似た葉が四方に広がっています。葉の形がクシの歯のようで、機織りの“おさ”に似ていることからこの名がついたようです。「東トイレ近くの杉林」に群生しています。



ヒメカイウ

花期：5月中旬～下旬
サトイモ科

中部以北～北海道の低湿地や水辺に生える多年草で、ミズバショウを小さくしたような花を咲かせます。「クリンソウの谷」で見られます。



チョウジソウ

花期：5月下旬～6月上旬
キョウチクトウ科

湿った草地に生える多年草で、「七草の庭」で見られます。花を横から見ると丁字に見えることからこの名がついたそうです。



アカヤシオ



トウゴクミツバツツジ



シロヤシオ

5月は 野生種のツツジでいっぱいの ツツジの丘

私達の周りには庭木や街路樹としてたくさんのツツジが植栽されています。それらの多くは栽培品種のヒラドツツジ、フルメツツジそして遅れて咲くサツキ等です。これらのツツジ名はグループ名（仲間の総称）でそのヒラドツツジにもオオムラサキやアケボノツツジなど数種類のツツジがあります。それぞれのグループに数種類のツツジがあり、合わせると非常にたくさんの栽培品種のツツジがあります。

実は、野生種のツツジもたくさんの種類があり、野草園ではアカヤシオ、トウゴクミツバツツジ、シロヤシオ、ヤマツツジ、ムラサキヤシオツツジ、レンゲツツジ等が植栽されています。ドウダンツツジの仲間サラサドウダンやアブラツツジ、そしてオオバスノキも植栽されています。その場所が「ツツジの丘」です。野草園内の南東部の一角にあり、約2900㎡の広さです。約240本のツツジの木で埋め尽くされ、5月になるとそれらの花が次々咲き誇り花の楽園になります。



ヤマツツジ



ムラサキヤシオツツジ



レンゲツツジ



オオバスノキ



アブラツツジ



サラサドウダン

観察用具の貸出しについて



ルーペやスマートフォン用顕微鏡、双眼鏡等の自然観察がさらに楽しくなる観察用具をお貸しします。ご希望の方は料金所にてお声掛けください。

レンタル料

- ルーペ 無 料
- スマートフォン用顕微鏡 100円
- 双眼鏡 100円

入園料の減免について



身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の所持者及びその介助者1名が施設を利用する場合、大人の入園料300円が無料になります。ご利用の際に手帳を提示してください。

また保育園、幼稚園、小学校等の学校、公民館、社会福祉施設の活動の一環として入園する場合、事前に**減免申請書**をご提出いただければ入園料が全額免除されます。減免申請書は野草園のホームページからダウンロードできます。

<http://www.yasouen.jp>

第22回 写真コンテスト 入賞作品

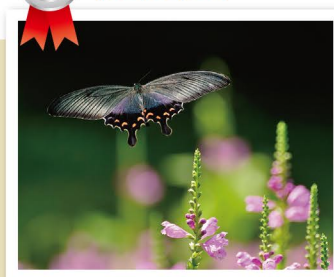
一般の部

最優秀賞



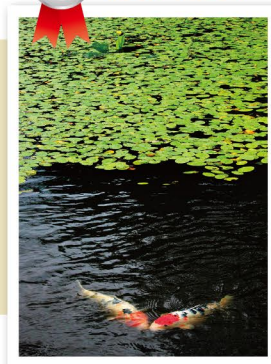
珍客訪問
田代 功さん

優秀賞



何処へ 高橋 克巳さん

優秀賞



秘密 伊藤 和男さん

小中学生の部

最優秀賞



優雅な庭園
安藤 晴香さん

優秀賞



一面花 川崎 菜さん

優秀賞



みためとなかみ
富田 帆海さん

審査を終えて 審査員代表 軽部 治悠紀

野草園の魅力を探る写真コンテストが今回で22回を迎えました。一般の部では64人から247点、小中学生の部では13人から62点の応募がありました。野草園に何回も足を運びじっくり作り上げた作品も多く、全体的に仕上げのプリントもきれいで力作がそろいました。

一般の部で最優秀となった田代功さんの「珍客訪問」は、ホウジャクがハナトラノオの蜜を求める姿をとらえた作品です。ホバリングする姿も美しく、副主役である花も重ならないように撮影されています。中望遠のレンズで高速の露出の選択も的確で優れた作品だと思います。

優秀賞の高橋克巳さんの「何処へ」はまさにカラスアゲハが次の花を求め飛び立つ瞬間をとらえた作品です。今回は蝶と花をモチーフにした作品が目立ちましたが、このように動的で作者のメッセージが強く伝わる作品は少なかったようです。写真はカメラというメカに頼らざるをえないものであるからこそ、感性とオリジナリティが何よりも大切だと改めて思いました。全紙位に大きくプリントすればなおいっそう堂々とした作品になると思います。

また、同じく優秀賞の伊藤和男さんの「秘密」は楽しい作品です。ジュンサイと錦鯉をシンプルにとらえました。錦鯉や水辺の昆虫なども野草園の魅力ですのでもっと多くの方から

作品を寄せていただきたいと思います。このような撮影においては水面の反射の扱いや錦鯉の位置と大きさなどもポイントだと思います。

小中学生の部の最優秀となった安藤晴香さんの「優雅な庭園」は超広角でバラの花を主役に作者の心象光景をイメージした作品ではないかと思います。最近のデジタルカメラは多機能ですが好奇心旺盛な作品づくりに拍手です。

優秀賞の川崎菜さんの「一面花」はヤマボウシを大胆にとらえています。ヤマボウシの花が奥まで咲きそうう広がりが感じられます。このように写しこまれていないものを想像で見せるという作品づくりは素晴らしいと思います。白に薄紅色がさした色調も魅力的です。

同じく優秀賞の富田帆海さんの「みためとなかみ」は二本のキツネノテブクロの作品です。手前の主役の花と後方の副主役の花のリズムがきれいです。また下からのアングルも的確で美しく咲いたこの花の魅力を100パーセント引き出しています。

全体的には蝶と花の組み合わせの作品が多かったようです。また作品づくりへの情熱と努力が感じられました。一方で類型的な構成の作品もみられました。技術的な高さも大事ですが自分の視点でとらえた作品の方が数倍魅力的です。カメラの機能は私達がついていけないスピードで進化しています。機械に負けず感性を磨くことが求められていることを写真愛好家の一人として痛感する日々です。